

中嶋りり子

4歳よりピアノとヴァイオリンを始める。

桐朋女子高等学校音楽科及び桐朋学園大学音楽学部卒業後、ウィーン国立音楽大学にアルバン・ベルク財団奨学生として留学。在学中、日墺文化協会より飯山恵美子賞、ベーゼンドルファー賞受賞。

1993年桐朋学園の推薦によりタンゲルウッド音楽祭参加。翌年同音楽祭の選抜メンバーとして再度招待を受け、TVドキュメンタリー番組 „ Perfect Harmony“ にも代表の一人として出演。

1996年よりウィーン放送交響楽団第二ヴァイオリン首席奏者を務めるかたわらバロックから現代まで内外の大小アンサンブルやソロ、室内楽をオーストリア・スイスを中心にイタリア、フランス、ドイツ、イギリスにて演奏。

ヴァイオリンを石井志都子、澤和樹、ギンター・ピヒラーの各氏に、バロック奏法をヨハン・ソンライトナー、クリストフ・コワンの各氏に師事。